



2022年12月19日

各 位

ENEOS株式会社

**第89回皇后杯 ENEOSサンフラワーズが10連覇達成！
～大会最多27回目の優勝～**

ENEOSサンフラワーズ（ヘッドコーチ：佐久本 智）は、12月18日（日）に行われた第89回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会決勝戦におきまして、デンソー アイリスに76対66で勝利し、自身の最多記録を更新する27回目の優勝、大会記録更新となる10連覇を達成しましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、渡嘉敷選手が先制となるシュートを決めるも、第3クォーターまで一進一退の攻防戦が続き、1点を追う展開で最終クォーターへ入る緊迫した試合となりました。勝負の第4クォーターでは、長岡選手、星選手の連続3点シュートで一気に点差を広げると、その後もこの試合32得点22リバウンドをマークした渡嘉敷選手を軸に攻め続け、追い上げるデンソーを振り切り勝利を収めました。





今大会のベスト5には、渡嘉敷来夢選手（12回目）、林咲希選手（2回目）、星杏璃選手（初受賞）が選出され、準決勝・決勝ともに32得点の活躍でチームを牽引した渡嘉敷来夢選手は、大会MVP（2回目）も併せて受賞しました。

ENEOSサンフラワーズは、第24回Wリーグとの二冠をめざして戦ってまいりますので、引き続き、温かいご声援をよろしくお願いいたします。

<試合結果>

日程		対戦チーム	スコア
2022年12月14日（水）	準々決勝	三菱電機 コアラーズ	92-73
12月17日（土）	準決勝	トヨタ自動車 アンテロープス	77-57
12月18日（日）	決勝	デンソー アイリス	76-66

<コメント>

	<p>佐久本 智ヘッドコーチ 10連覇がかかった今大会でしたが、選手スタッフが一丸となってプレッシャーをはねのけ勝つことが出来ました。 これも一重に日頃の皆様のご協力、応援のおかげと本当に感謝しております。 この良い流れをリーグでも活かし全力で戦って参ります。 今後のご声援をお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
	<p>渡嘉敷 来夢キャプテン 最後まで勝利を信じた熱いご声援をありがとうございました。 応援を力に史上初の10連覇という大記録を達成することができました。 この大会は全員の勝ちたいという気持ちが全面にでた素晴らしい試合の連続だったと思います。 次の目標はリーグ戦優勝です。絶対に二冠をし、また皆様と大きな喜びを共有したいと思います！ 引き続き熱いご声援をよろしくお願いいたします。</p>
	<p>林 咲希選手 たくさんの応援ありがとうございました。 10連覇達成することができ、嬉しい気持ちもあり、安心した気持ちもあります。 チームのみんなに支えてもらいながら戦い続けてきた結果なのでチームメイトや、スタッフの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。 またこれからリーグ戦続きますので、個人もチームも強くなっていくよう頑張ります。</p>
	<p>星 杏璃選手 熱いご声援ありがとうございました。 私自身この大きな舞台にとっても緊張しており不安もたくさんありましたが、皆さまの応援や頼れる先輩たちに支えられ思い切りプレーすることができました。 まだまだ未熟な部分もありますが、もっともっと成長できるよう頑張ります。 リーグ戦も優勝し、二冠達成に貢献できるよう全力を尽くしますので応援よろしくお願いいたします。</p>



皇后杯を授与され笑顔あふれるENEOSサンフラワーズの選手



大会MVPを受賞した渡嘉敷来夢選手

以上

■皇后杯(女子)ファイナルラウンド/ 国立代々木競技場第二体育館(東京都渋谷区)

ENEOSサンフラワーズ

76		W7		66		12/18(日)	
18日		15:00					
57		W5		77		12/17(土)	
17日		17:00		17日		19:00	
56		W1		51		12/14(水)、15(木)	
14日		17:00		92		W2	
		14日		19:00		73	
67		W3		69		85	
15日		17:00		15日		19:00	
42		W4		42			
1	2	3	4	5	6	7	8
トヨタ自動車 アンテロープス	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ	ENEOSサンフラワーズ	三菱電機 コアライズ	東京医療保健大学	富士通 レッドウエーブ	デンソー アイリス	日立ハイテク クーガーズ